

# アマミノクロウサギも猫も殺さないですむ さくらねこTNR(ティエヌアール)にしよう。

アマミノクロウサギは、いまや地球上で奄美大島にわずか4000匹、徳之島にはたった200匹だけしかいなくなってしまう環境省も絶滅を危惧する生きた化石と呼ばれる珍獣です。

そんな中、島に住むねこがアマミノクロウサギを食べていることがわかりました。もともと島には人もねこも住んでいませんでしたが、島に移り住んだ人たちが、いつの日かねこもつれて来ました。

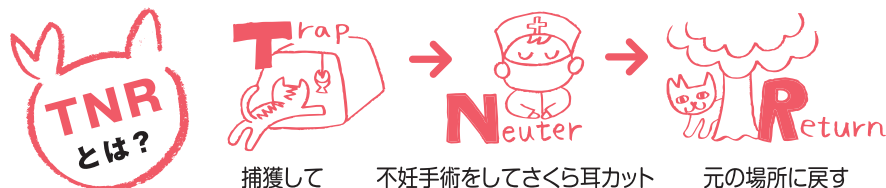
不妊手術もせずに放し飼いをして増えてしまったねこはやがて森に入り、クロウサギを食べるようになってしまったのです。このままでは私たち人間のせいで地球上からアマミノクロウサギがいなくなってしまうのです。

「1000万年続いたアマミノクロウサギを私たちの世代で滅ぼしてしまった」なんて、申しわけないではすまされません。

かといって少なくなったクロウサギの命を守るために増えすぎた猫を駆除するなんて残酷なことは心やさしい島の人たちにはとてもできません。

そこで島の人たちと相談した結果、島に住むノラ猫、飼い猫すべてにどうぶつ基金が無料で不妊手術をして猫の数を減らすことにしました。とは言っても徳之島だけでも推定3000匹のねこが暮らしています。すべてのねこに不妊手術をするためには、どのねこに手術が済んでいるのか見分けなければなりません。そこで不妊手術の麻酔で痛くない間に、ねこの耳をV字にカットして手術が済んだしるしにします。このかたちが桜の花びらに似ていることからさくら耳、手術が済んだねこは、桜のようにみんなから愛されてほしいという想いを込めて、「さくらねこ」と呼んでいます。

こうして、島では、みんなで、アマミノクロウサギとさくらねこ、どちらも殺さずに一緒に暮らせるしくみを作っていきます。



ノラ猫をつかまえて(Trap)、不妊手術をして(Nuter)、戻す(Return)ことによって、繁殖を防ぎ殺処分ゼロをめざす人道的な手段です。ただし徳之島ではクロウサギの森に住むねこは、つかまえて(Trap)、不妊手術をして(Nuter)引越して(Rehome)、みんなで飼うことにしています。

※参考文献 アマミノクロウサギブック



アマミノクロウサギ 写真提供：環境省奄美自然保護官事務所



さくらねこ



今なら

**猫の不妊手術 無料**  
**飼い猫もノラ猫も 無料**  
**ノミダニ駆除・ワクチン 無料**

**費用はどうぶつ基金が全額負担します。**  
**お申し込みは今すぐ! 3町役場 まで!**

## TNRで生物多様性を守る

### ご寄付のお願い

私たちは、保健所など、行政による犬や猫の殺処分ゼロをめざし、不幸な命を減らすために、毎年数千匹のさくらねこ無料不妊手術を行っています。しかし、殺処分ゼロを一日も早く実現するには、まだまだ力不足です。殺処分ゼロを実現するため、あなたのご支援が必要です。ご寄付で私たちの活動を支援してください。

振込先

公益財団法人どうぶつ基金(コウエキザイダンハウジンドウブツキキン)

○ 三井住友銀行 芦屋駅前支店 普通 4172198

○ 郵便為替 00230-8-72832

どうぶつ基金のホームページからクレジットカードもご利用できます。

